

セッション③

製品・サービスのライフサイクル を通じた温室効果ガス 排出量算定・表示 推進事業



ファシリテーター

伊原 彩乃
プリンシパル

気候変動・サステナビリティグループ
パブリック・セクターグループ
社会貢献グループのコアメンバー

「製品・サービスのライフサイクルを通じた温室効果ガス排出量算定・表示推進事業委託業務」を2022年度（初年度）から継続的にご支援

カーボンフットプリント (CFP) とは

ライフサイクル
ステージ



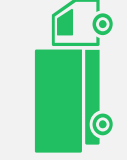
紙パック牛乳
の場合



- 紙パックの生産
- 乳牛の飼育



- 牛乳製造
- パッケージング



- 輸配送
- 冷蔵配送
- 販売



- 冷蔵



- 紙パック収集
- リサイクル処理

全体のCO2排出量 = CFP (Carbon Footprint of Product)

モデル事業の概要



- 製品・サービスのカーボンフットプリント（CFP）の算定、削減、表示に係る参加企業の主体的な取組を支援し、CFPの知見を得てもらうとともに、排出削減の取組とビジネス成長を両立させる先進的なロールモデルを創出する

背景と目的

- 「国民が脱炭素に貢献する製品・サービスを選択できる社会」を実現するためには、購買活動における気候変動影響が、CFPを通じて消費者に「見える化」される必要
- 一方で、CFPの算定等を行う難易度や業務負担が課題となり、取組を躊躇する企業も少なくないところ
- 本モデル事業は、今後B2Cの製品・サービスを中心に、比較的簡易な算定¹によるCFPの取組を社会全体に普及させるため、先進的なロールモデル創出を目指すもの

モデル事業の全体の流れ



参加企業の主体的な取組を、事務局が支援

カーボンフットプリント(CFP：Carbon footprint)とは

1つの製品やサービスについて、原材料調達から消費者が廃棄するまでに排出する温室効果ガスの総量をCO₂相当量で表現した数値のこと



カーボンフットプリント
12.5kg-CO₂e

1. ここでいう「比較的簡易な算定」とは、「カーボンフットプリントガイドライン（別冊）CFP 実践ガイド（2023年5月、経済産業省・環境省）」に則り、他社製品・サービスとの比較を前提としない算定をいう。
(<https://www.env.go.jp/content/000136177.pdf>)

本年度モデル事業参加企業と算定製品、発表者

甲子化学工業
株式会社



防災ヘルメット
HOTAMET

企画開発部
部長

南原 徹也

チヨダ物産
株式会社



紳士靴
「ハイドロテック
ウルトラライト」

商品部
CSR担当

松田 徳子

株式会社ハースト
婦人画報社

SDGs関連イベント
「ELLE ACTIVE!
FESTIVAL 2023」

社長室

サステナビリティ

マネージャー

大竹 紘子

マルハニチロ
株式会社



白身魚タルタルソース

経営企画部

サステナビリティ推進

グループ

グループ長

佐藤 雄介

ミニストップ
株式会社



ソフトクリーム (バニラ)

環境・

コミュニケーション部

部長

迎 慎紀